

事務事業評価一覧(課別)

令和5年度

教育部国分図書館

(単位:千円)

事務事業名	決算額	改善方向性		シートNo.
		コスト	成果	
計:	74,746			
2437 図書館運営事業	67,571	↑	↑	423-01
2438 移動図書館運営事業	7,045	↑	↑	423-02
2440 図書館読書推進事業	130	↑	↑	423-03

1. 基本情報							
事務事業名	2437 - 図書館運営事業						
政策名	4. はぐみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)				所属	国分図書館	
施策名	2. 多様な学びを支援する社会教育の充実						
基本事業名	3. 多様な学びを支援する学習環境の充実				予 算 科 目	会計	01 一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①市民の多様化・高度化する学習ニーズへの対応や、市民が必要としている学習情報の提供に努めます。 ②機能が充実した図書館等の周知・広報による利用促進や、幅広い年代層・学習ニーズに対応した講座の充実を努めます。 ③社会教育施設の修繕等を通じ、市民が安全・安心に利用できる学習環境の整備に努めます。					款	10 教育費
					項	06 社会教育費	
					目	08 図書館費	
					事業期間	昭和33年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	図書館法、霧島市立図書館の設置及び管理に関する条例、施行規則	
	①②③市民		①②③ニーズに応じて学ぶことができる			関連計画	霧島市教育振興基本計画、霧島市子ども読書活動推進計画

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

市立図書館・図書室の適切な管理運営を行う。

【施設の概要】

- ・図書館2か所(国分図書館、隼人図書館)
- ・図書室5か所(溝辺図書室、横川図書室、牧園図書室、霧島図書室、福山図書室)

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 市民	人口	人	122,926	123,370	122,442	123,101
イ 市民	人口	人	122,926	123,370	122,442	123,101
ウ 市民	人口	人	122,926	123,370	122,442	123,101
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 興味がある本を読むことができる	貸出者数(移動図書館を除く)	人	91,744	95,000	98,763	98,000
イ 興味がある本を読むことができる	貸出冊数(移動図書館を除く)	冊	382,032	400,000	329,486	335,000
ウ レファレンスサービスを利用できる	レファレンスサービスの利用件数	件	1,284	1,000	962	1,000

3. 事業費推移		R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果		
事業費(千円)		81,335	67,571	78,077	・各図書館(室)において、蔵書構成を考慮しながら図書資料等の収集、整理、提供等を行った。 入館者数(R4/210,052人→R5/228,558人)貸出者数(91,744人→98,763人)貸出冊数(382,032冊→329,486冊) ・令和4年度まで2図書館蔵書しかインターネットで検索・予約できなかったが、令和5年度から5図書室の蔵書もインターネットで検索・予約できるようになったことを周知した。 (窓口予約R4/4,632冊→R5/5,067冊、インターネット予約10,817冊→14,190冊、計15,449冊→19,257冊) ・未返却本の督促を、早めに実施したことにより、未返却者が減少した。 ・閉架書庫の整理を行った。(廃棄冊数R4/12,833冊→R5/10,009冊)		
財源内訳	国庫支出金	13,500	0	0			
	県支出金	0	0	0			
	地方債	0	0	0			
	その他	48	50	1,244			
一般財源	67,787	67,521	76,833				

5. 振り返り<SEE (check) >

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか? 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN) >

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)	
① 事業(成果)の方向性	↑ 拡充	・廃棄作業を進め、閉架書庫を整理し、併せて来館者がより利用しやすい開架書架とするため年次的に取り組む。 ・便利なインターネット予約の周知に努め、活用促進を図る。 ・郷土誌編さんについて、今後の方針を決定する。 ・蔵書検索機能を活用し、全図書館・室で複数保有する図書の整理を推進する。 ・「視覚障害者等の読書環境の整備に関する法律(読書バリアフリー法)」に基づくコンテンツ収集を検討する。 ・各地区の外国人住民の国籍傾向を調査し、各図書室でその国の文化や習俗を理解できるような図書の整備を進める。	
② コスト(予算)の方向性	↑ 拡充		

1. 基本情報							
事務事業名	2438 - 移動図書館運営事業						
政策名	4. はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)				所属	国分図書館	
施策名	2. 多様な学びを支援する社会教育の充実						
基本事業名	3. 多様な学びを支援する学習環境の充実				予 算 科 目	会計	01 一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①市民の多様化・高度化する学習ニーズへの対応や、市民が必要としている学習情報の提供に努めます。 ②機能が充実した図書館等の周知・広報による利用促進や、幅広い年代層・学習ニーズに対応した講座の充実に努めます。 ③社会教育施設の修繕等を通じ、市民が安全・安心に利用できる学習環境の整備に努めます。					款	10 教育費
					項	06 社会教育費	
					目	08 図書館費	
					事業期間	昭和43年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)			根拠法令 条例等	図書館法、霧島市立図書館の設置及び管理に関する条例
	①②③市民		①②③ニーズに応じて学ぶことができる				
					関連計画	霧島市教育振興基本計画、霧島市子ども読書活動推進計画	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

移動図書館の適切な管理運営を行う。
 【移動図書館車の概要】
 ・国分 大型1台、小型1台
 巡回46箇所、配本18箇所
 ・隼人 中型1台
 巡回34箇所、配本10箇所

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 市民	人口	人	122,926	123,370	122,442	123,101
イ 市民	人口	人	122,926	123,370	122,442	123,101
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 移動図書館で興味がある本を借りることができる	貸出者数(移動図書館分のみ)	人	6,674	7,000	6,357	6,500
イ 移動図書館で興味がある本を借りることができる	貸出冊数(移動図書館分のみ)	冊	44,400	45,000	42,966	43,000
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移	R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果
事業費(千円)	5,161	7,045	6,416	・巡回場所を見直し(国分7減3増、隼人2減1増)、しろやま号で46か所、はやとすずかけ号で34か所、計80か所巡回した。 ・小学校への巡回は、小規模校を中心に市内全体で実施し、読書推進につながった。 ・移動図書館用の本の充実整備を進めた。 ・利用者からのリクエスト(読みたい本)の要望に応えるサービス等、知りたい情報・求めている本の提供を行い、利用者の利便性向上につながった。 ・Instagramで運行状況の広報を行った。
財源内訳	国庫支出金	0	0	
	県支出金	0	0	
	地方債	0	0	
	その他	0	0	
一般財源	5,161	7,045	6,416	

5. 振り返り<SEE (check) >

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか? 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN) >

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)	
① 事業(成果)の方向性	↑ 拡充	・移動図書館の利便性を活かした、巡回場所・コースの計画的な見直しを行う。 ・HPやInstagram、広報等を利用し、巡回場所について、広く周知する。 ・身近な図書館として、市民の多様なリクエスト(読みたい本)等に応えられるように改善していく。 ・移動図書館用車両の適切な維持管理を行う。	
② コスト(予算)の方向性	↑ 拡充		

1. 基本情報			
事務事業名	2440 - 図書館読書推進事業		
政策名	4. はぐみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)	所属	国分図書館
施策名	2. 多様な学びを支援する社会教育の充実		
基本事業名	3. 多様な学びを支援する学習環境の充実	予	会計 01 一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①市民の多様化・高度化する学習ニーズへの対応や、市民が必要としている学習情報の提供に努めます。 ②機能が充実した図書館等の周知・広報による利用促進や、幅広い年代層・学習ニーズに対応した講座の充実に努めます。 ③社会教育施設の修繕等を通じ、市民が安全・安心に利用できる学習環境の整備に努めます。	算	款 10 教育費
		科	項 06 社会教育費
		目	目 08 図書館費
		事業期間	昭和33年度～
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)	意図(どうしたいか)	根拠法令 条例等
	①②③市民	①②③ニーズに応じて学ぶことができる	図書館法第3条、子どもの読書活動の推進に関する法律等
		関連計画	霧島市教育振興基本計画、霧島市子ども読書活動推進計画

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

多様な読書行事等への参加を通して、読書や学習への興味を喚起する。
主に、ブックスタート、おはなし会、読書まつり等を行っている。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 市民	人口	人	122,926	123,370	122,442	123,101
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 読書に興味を持ってもらう	行事への参加者数	人	2,931	3,100	4,344	4,500
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移	R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果
事業費(千円)	566	130	510	・新型コロナウイルス感染症の分類が5類となり、昨年度よりおはなし会や行事の回数、参加人数を増やすことができた。乳児とその保護者にとって本が大切であるとの認識が浸透したことで、図書館利用やおはなし会への参加につながった。 ・インスタグラムでの広報を開始した。 ・ブックスタート(12回、1329人参加)保健センターと連携し、開催した。 ・おはなし会(107回、1257人参加) ・夏休み特別講座(4回、84人参加) ・緑陰読書(6回、194人参加) ・読書イベント(51回、1429人参加) ・きりしま読書会(6回、51人参加) ・図書館だより等の発行(国分12回、横川5回、牧園10回、霧島12回、福山10回) ・霧島市子ども読書活動推進計画の第4次策定に向け、学校図書館との打ち合わせを、2月にインターネットを介して行った。
財源内訳	国庫支出金	0	0	
	県支出金	0	0	
	地方債	0	0	
	その他	0	0	
一般財源	566	130	510	

5. 振返り<SEE (check) >

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか? 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN) >

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)	
① 事業(成果)の方向性	↑ 拡充	・令和6年度に策定する霧島市子ども読書活動推進計画(第4次)に基づき、子どもの読書活動を推進していく。 ・幅広い年齢の方に参加していただけるよう、読書行事の内容や日時、実施方法等を改善する。 ・ブックスタートからその後の読書活動につながるよう、赤ちゃん絵本や、すくすくコーナー(子育て世代向け)の充実・周知を行う。	
② コスト(予算)の方向性	↑ 拡充	・福祉コーナー(大活字本、朗読CD、点字、LLブック)の充実を図る。 ・広報誌やホームページ、インスタグラム等で、より多くの市民に周知する。	